

第120号

2008

Feb.

2

きずな THE KIZUNA

いとしご増刊

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

発行人：社団法人日本自閉症協会
石井哲夫
編集人：社団法人日本自閉症協会
奈良支部
支部長 & 事務局：河村舟二
〒639-1005
大和郡山市矢田山町 84-10
購読料1部 100円
会員は会費に含まれています。

現在の社団法人日本自閉症協会奈良県支部の会員は、今回の協会支部の廃止にともない、協会会員から支部継承組織としての団体加盟組織会員（支部継承組織）と変更されます。

これにより、会員の皆様にはこのことを了承して頂く、承諾書（新組織の入会申込書となる葉書）を提出していただくこととなります。お手数をおかけしますがよろしくお願ひします。新組織の名称は「奈良県自閉症協会」です。つきましては、解散総会と支部継承組織「奈良県自閉症協会」設立総会を次の通り行います。

奈良県自閉症協会の発足

日時 3月30日（日）午後1：30～3：30（受付1時）

場所 大和郡山市福祉会館 3階大広間

内容 支部規約に則った支部解散の承認の件
支部継承組織「奈良県自閉症協会」設立の承認の件
支部財産権の処分権取得の決議と支部継承組織との事業等の委託契約について
NPO 法人申請について その他

※この奈良県自閉症協会発足総会は、子供さん連れ、ご家族、お父様のご参加も歓迎です気軽に参加して下さい。欠席者は必ず委任状を提出して下さい。

社団法人日本自閉症協会奈良県支部 支部長 河村舟二

19 年度追補版 自閉症リソースブック・アンケートへのご協力のお礼

会員の皆様にはアンケートハガキの返信を多数頂き、ご協力本当にありがとうございました。返信頂いた内容とご協力頂くリソースブックの原稿を中心に 30ページほどの追補版として 皆様のお手元にお届けできますように作成したいと思っています。

これまでいろんな経験をされてきた会員の皆様からの希望内容は、とても奥深い部分での支援内容である事をこの度実感致しました。この部分につきましては もっと時間をかけて じっくりと取り組む必要がありそうです。20年度に向けての更に新しい活動の参考にさせて頂くとともに 改訂版のリソースブックへとつなげていけたらと思っておりますので 今後も皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

返信アンケートハガキの集計（計34枚）

〈追補版に入れて欲しい内容〉

・ 自閉症とは？	6	・ 診断について	3
・ 療育方法	5	・ 医療機関	11
・ 療育先	6	・ 相談機関	11
・ 特別新教育	10	・ 高校から大学へ	7
・ 高機能、アスペルガー	8	・ 告知	4
・ 障害者自立支援法	10	・ 福祉サービス事業所	7
・ 施設サービス	10	・ 就労支援	13
・ 市町村での地域支援	15	・ 余暇支援	13

- ・地域生活の工夫 15
- ・権利擁護 8
- ・資料編 9
- (お奨め本 3 支援グッズ 3 関連HP 1)
- ・その他 (家庭や地域での好ましい関わり方・あり方福祉サービス サラマンカ宣言 インクルーシブエンディングノートの書き方)

平成20年1月26日

近畿ブロック各支部役員 各位

近畿ブロック選出理事
大久保 尚洋

第48回理事会報告

平成20年1月26日午後1時30分より航空会館において第48回理事会が開催され、近畿ブロック選出理事として出席しました。

今回の理事会は、理事会招集願いによる初の理事会として開催されたものであります。

理事会での議題は、「定款の一部変更に伴う内規(案)等について」が主なもので、以下、主な議論は下記のとおりの内容であったことを報告いたします。

- ・関東ブロック(案) 別紙の通り
- ☆ブロック理事選出については、現行の14名から白水案の15名として関東5、東海2、近畿2、他各1とする(白水案)
- ☆ブロック理事は、現行のままで4名のブロック推薦理事を選出後、各ブロック理事を選出。(高山案)

- ・中国ブロック(案) 別紙の通り
- 活動協力金の取り扱いについて、検討してほしい

一部提案説明の後、質問意見交換がされ、関東ブロック・白水案の採決が取られ、反対多数で白水案は否決された。又、ブロック理事選出の内規の他、意見交換がなされ、その主なものとして次のものが出された。

- ・個人会員の新規入会について、理事会の承認を必要とする
- ・入会申込書の統一性
- ・活動協力費が必要な理由
- 存続し、会費値上げを視野に入れて考慮が必要
- ・本部直加盟の個人会員の議決権喪失の説明と所属移行

出席理事(欠席7名)

石井会長、須田副会長、石丸副会長、山崎副会長、大平常務理事、奥野理事、
深瀬理事(東北)、阿部理事(中国)、岡田理事(九州)、榊理事(北陸)、清水理事(関東)、白水理事(関東)、杉山理事(関東)、高山理事(関東)、野尻理事(関東)、水野理事(東海)、横田理事(四国)、大久保(近畿)

内規の原案について事務局長が説明を行った後、内規に関して提案された内規(案)の趣旨説明

- ・岡田(案) 別紙の通り
- 会員資格の定款との整合性を求める。
- 団体加盟会員の認証(認定)
- ブロック理事選出⇒関東を3ブロックにし、11+3を提案
- ・大久保(案) 別紙の通り
- 既定の内規については、原則支持するが、岡田(案)に賛成

確認について

議論は白熱し、予定時間の4時を10分過ぎ、本日の会議は終了し、次回2月23日開催の理事会に継続審議とされた。



藤川さんの手記

奈良市芝辻町にD. H. Aセンターがあります。この度、障害児の子供・知的・自閉症・発達障害児に関わって教育して下さるとい事ですので、私の息子藤川高史がD. H. Aセンター福島先生と共に歩んできた12年間を記してみました。

1歳半検診の時に自閉的傾向ですねと言われ、やっぱりか・・・と落ち込みました。子供と関わりたいのに関わりにくい高史、なんとか高史の事を長期にわたり理解して関わって下さる先生を探していました。

息子高史が5歳の時にD. H. Aセンターの福島先生と出会いました。先生の人柄は優しく、私がほっとした事を覚えています。当時の高史は、療育教室に通っていましたが、母子分離教育が苦手、私と離れるのをとても怖がり大声で泣きじやくり、また私も、したくない課題をする高史の姿を見るのがつらく、他の児童とわが子を比べてしまい、情けない気持ちになりました。当時は言葉の指示も入らず多動で、言葉が出ているような消えてしまうような・・・一体高史はどうなって行くんだろうと不安で一杯でした。D. H. Aセンターの福島先生との出会いが、そういう不安で縛られていた気持ちをふっと楽にしました。

一つは主人との関係、高史が幼児の時、私は孝則の事でいつもバタバタして忙しくしているのに、主人は仕事で忙しくて子供と向き合う時間はなく、寂しそうな顔つきでいました。私はなんだか心苦しく思いました。福島先生に相談したら、「ご主人もどう関わってよいか悩んでらっしゃるのでは？糸口がほしいのでは？」と言って下さり、主人とゆっくりとした時間を作りました。すると主人の方から、「高史は俺を拒否する。怖がっている。俺の所に来ない。俺は高史と普通の父さんのようにしたいのに・・・」と本音を語ってくれました。本当は関わりたいのに関われなく、息子に拒否されてしまう主人は辛かったんだと気付く事が出来ました。

また先生に、「高史が水道、シャワー、噴水の水を見るのが嬉しくて興奮してピョンピョン飛びまわりますが、プールには入るのを嫌い思いっきり逃げてしまい困っています。また、顔に水がつくのを怖がります。こんなんで泳げますか？」と相談しました。先生は、「泳いでほしいと思うより、水とは何だろう？水遊びとは何だろう？という事が解らないから、怖がるのでしょう。思いっきり水と遊んでみて下さい。」とアドバイスをして下さいました。まだ高史も小学校の低学年でしたし、思いっきり家庭で水遊びをしました。九条プールの赤ち

初入室の時は、母子分離の出来ない孝則がどうなるか不安でした。自閉症の特性上、初めての所は絶対に無理だろう「今日はここに来たね～」「いい所だね～」「この先生が福島先生よ～」「いい先生だね～」といて先生に会わせて、教室の雰囲気や先生の写真を撮ったら、その日はさっさと帰ろうと思っていました。また、分離は無理だから慣れるまでは、私も同じ部屋にいた方が良いのではとあれこれ思いを巡らしていました。不安いっぱい連れて行ったのですが、高史は福島先生を一本舜で好きになり、先生に抱きつき、私に元気よくバイバイと手を振ってくれました。私は一瞬疑いました。「何故そんなに簡単に離れたの？」「これは、本当のことなのか？」と信じられない気持ちになり、すぐに嬉しさがこみ上げて涙が出てしまいました。福島先生は面談の時に、「私はたとえ障害のあるお子さんでも、障害という枠では見ませんよ。あくまでも藤川君という一人の人物としてお付き合いしますよ。高史君の一面をみてあーだ、こーだと決めつけて見ません。色々な角度からの心地良い刺激で楽しく見ていきます。」と言って下さいました。つい親は、出来ないところを見てめげてしまいますが、先生は高史が伸びたがっている話をして下さり、私の見方が変わりいつも助けられてきました。

やんプールでもよく遊びました。私は、『わに』みたいな格好をして背中に高史がかぶさり『うらしま太郎』さん遊びをしました。私が高史に、「好きな動物をどうぞ」と言って、高史が「ぞう」と言うと私は、「パオ～パオ～」言って私の背中に負ぶさっている高史と、楽しくプールをうろうろしました。高史はものすごく喜んで笑いました。こういう時期が2年位続きました。小学校のプールの時期も近づき、私はある時高史に「ゴーグルをつけてプールのお水に顔をつけてくれないか？」といちかばちか頼んでみました。高史はパニックになりそうでしたが、なんとか顔を水につけられる様になり、怖いという殻を被れる喜びを自分自身で獲得する事が出来ました。高史が何度も何度も「お水やね～」「こわいな～」「1, 2, 3はあ～」という儀式をしてから、顔を何回もつけました。顔つけができた所で、お腹と太ももに手を添えて水と平行にしたら、すっと水に浮かびました。その浮かぶ儀式を何回もしてから、足のバタバタをしたら何とか泳げるような格好になりました。私は、主人にプールに行こうと誘いました。西部プールに行くと高史は、バタバタと水しぶきをまきちらして水に浮かんでいました。主人が私に「おまえよ一頑張ったなーありがとう、あとは俺に任せてくれ！」と言ってくれ、今まで関われなくっ

て辛い時期を吹き飛ばすかのように、はりきって高史と関わってくれました。主人は長年のトンネルから出られたみたいで、イキイキしていました。そしてプールというものが、主人と息子の関わるツールであり媒体である事に気づき、言葉だけで関わる事は高史の負担になる事を理解してくれました。我が家が仲良くなれたのも、福島先生のアドバイスのおかげです。当時の専門家は高史が泳げない相談をしたら「別に泳げなくてよいですよ」と言っていたのに、「元々素質があったかな？」と言いが変わりました。(今は、カツコ良く泳げています!) それから、ボール遊び、インライン・スケート、マラソン、ドラムソフトボールと主人と息子の世界が広がりました。高史は主人の真似をしながら、主人を尊敬するようになりました。すごく嬉しかったです。

小学校の低学年の頃は、福島先生に会いたいという気持ちでいっぱいになり、私から離れてパツと走り出しますので、D. H. A センターに通う道中も一つ一つのスキルアップになりました。高史は、親から離れて一人でD. H. A センターに行きたいと言い出しましたので、D. H. A センターに到着する事をゴールとして家庭からD. H. A センターへの行き方を少しずつ教えました。高史もどんどん覚えてくれました。電車の切符の買い方、乗

した。嬉しかったです。また先生は、空気を抜いたやわらかいボールで遊んでくれ、キャッチボールを通して相手と楽しく遊ぶことを教えてくれました。ここ数年は、トランプ、すごろく、オセロ、ボードゲーム、将棋、そろばん等により、相手の動きを読んで考える楽しさを高史に伝えて下さいました。

福島先生の教育は、こうしなければいけないと強制させるのではなく、心地良く色々な角度から見て下さるので、ユニークに伸ばして頂けます。そういう教育はなかなか家庭でしにくく、私は助かりました。高史は自閉症ゆえ発達に偏りがちですが、先生の心地良い教育が孝則にとって良い刺激となり、広がりにくい世界を広げてくださりとても感謝しています。高史と先生が築いてくださった12年間は、すごく貴重な時間です。また、高史以外にも自閉症の子供を教育してこられています。その実績もあります。障害の子供の発達を願い、今年度から本格的に障害を持つ子供達の教育に力を注ぎたいとおっしゃっています。子供の世界を少しでも広げやりたいと思われるお母様、どうぞ心の壁を取られて一度福島先生に見て頂くのは、いかがでしょうか。そして私と息子が感じたように、心地良く、本人がいきいきとして伸びる体験をしてみませんか?言葉でいえない位の嬉しい気持ち

り方、乗っている時のルール、道中のコンビニの買い物の仕方、買い食いのルール、交通のルールなどいろいろスキルはありましたが、少しずつ覚えてくれました。高史にとってゴールのD. H. A センターが見えていてからこそ、D. H. A センターは自分にとっては心地良い空間と思っていたからこそ、覚えていってくれたと思います。ついに、小学校3年生の時に一人で行けて帰れるようになりました。私の方が心配で、息子にばれない様に探偵のようにしてついて行きました。大宮幼稚園の溝の蓋をバンバンと踏んで音を立てて楽しんだり、知らない二階建てのハイツに入り、二階に行って走ってドカドカ降りてきたり、JR 奈良駅近くにあったコンビニでたくさんパンを買ってパンの袋をポイと捨てたり、ムシャムシャと歩きながら食べたり、看板を叩いたりとハラハラする事をたくさんしていました。今となっては、楽しい思い出ですが・・・。

福島先生は息子が学びたがっている事に共感して下さるので、脳の蓋が開いているようでした。いろいろな事に興味を持つようになり覚えるのでびっくりしました。習い始めの頃、粘土遊びをしていました。ある時、家で本を見ないで、エリックカールのはらぺこ青虫の絵本通りにカラー粘土を使って作ってくれたのでびっくりしま

ちになると思います。息子の課題はたくさんありますし、悩みもたくさんありますが、福島先生がいて下さるからこそ、私も息子も安心していられます。私と息子にとっての心の居場所です。どうぞ子供の発達で悩んでいるお母様方、お気軽に先生をお訪ねになって下さい。 藤川 D. H. A センターとは

福島 卓央

D. H. A センターは、知的障害・自閉症・発達障害をお持ちのお子様や保護者の方々と共に、手を携えて歩んでいく空間です。目先の結果にとらわれず、楽しいと感じてくれる環境を、時間をかけて作っていきます。センターに置いてあるすべての材料(おもちゃ、パズル、将棋、図鑑、物語、マット、鉄棒、ボール、クレヨン、粘土 etc.) を使いながら、お子さまの発するどんな小さな信号も細心の注意を払って受け止め、一人一人の良さを発見し、伸ばしていきます。少し他の子供とは違うと心配なさっているお母様、躓きながらも笑顔でお子さま達と歩んで行くことがD. H. A センターの役割です。
〒630-8114 奈良市芝辻町2丁目8-12 西田ビル 2F
TEL / Fax 0742-36-3081
Mail dha@v005.vaio.ne.jp

今回の組織改革により支部組織が廃止され社団法人日本自閉症協会の構成団体としての奈良県自閉症協会という独立した組織にリニューアルされます。会社でいえば社名変更をすることになりました。このいきさつについては、これまでのいとしご及び絆をご覧下さい。振り返れば、奈良県支部は平成10年全国で最後の支部として発足し、ちょうど今年が10周年の節目です。名前だけの変更でなく更なる飛躍の機会にしたいと思います。(河村)

**奈良自閉症協会10年史
(社団法人日本自閉症協会奈良県支部のあゆみ)**

○自閉症協会奈良県支部設立までの歩み
平成9年(1997)
3月26日 近畿ブロック会議(河村オブザーバー参加)
大阪長居加島ビル
9月7日 第1回会合(奈良)春日野荘
10月26日 第2回会合 大和郡山市福祉会館
11月23日 代表者会議
12月7日 第3回会合(橿原)社会福祉センター
第1回講座「自閉性障害の最新情報」
西田清先生

平成10年(1998)
1月25日 第4回会合 大和郡山市福祉会館
2月7日 第23回理事会第15回評議員会議(東京)
で奈良支部設立が議案に。
2月8日 役員会 西田宅
2月15日 奈良県手をつなぐ育成会との話し合い
奈良市福祉総合センター
2月22日 ☆支部発足に向けての協会本部からの支援
事業
協会本部主催「巡回療育相談会」
奈良市総合福祉センター
講演「私の子育てと協会活動」須田初枝副会長
「自閉症児者の理解と対応」石神互先生
3月1日 役員会 奈良市総合福祉センター
4月5日 役員会 奈良市総合福祉センター
4月19日 自閉症協会第10回総会で奈良県支部設
立の承認
4月29日 役員会 奈良市総合福祉センター
5月10日 ☆奈良県支部の発足
社団法人日本自閉症協会奈良県支部発足記念総会
6月14日 NHK フォーラム
6月23日 保護者部会

6月27日 奈良県重症心身障害児(者)を守る会との
会合
7月4日 強度行動障害についての理解を深める会第
1回講座
7月12日 第3回発達講座
8月24日 奈良県への要望書と回答
8月22/23/25 就学相談
10月9日 成人部・相楽ディセンター(京都)見学
10月11日 就学相談会
10月12日 学習・堀先生(大阪市立大学)の話しを
伺う
10月15日 第4回発達講座
11月6日 第5回発達講座
11月21日 強度行動障害についての理解を深める会
第2回講座
11月24日 第二東福(通所授産施設を見学)社会福
祉法人青山会
11月27日 ちいろば園(福祉作業所)の設立説明
会出席(成人部)
12月1日 成人部・あさけ学園見学
12月2日 県福祉課大西氏に面談
12月15日 辻村泰範氏直筆支部看板受け渡し

12月21日 県福祉部から回答書
平成11年(1999)
1月22日 療育部学習会「障害を持つ子供の親として」
中谷正恵 氏
1月16日 強度行動障害についての理解を深める
第3回講座
2月14日 療育相談会
2月20日 強度行動障害についての理解を深める
第4回講座
3月16日 療育部学習・堀先生とビデオを見る会
3月20日 強度行動障害についての理解を深める
第5回講座
3月21日 近畿ブロック会議
4月1日 療育部レクリエーションプール
4月9日 つながり祭実行委員会
5月16日 平成11年度第2回支部定期総会
5月23日 つながり祭参加
6月13日 NHK 障害福祉フォーラム
6月27日 第6回自閉性障害児者の発達講座
8月18日 強度行動障害について理解を深める会 第
1回講座

8月28～30日 発達相談会
 11月23日 第7回自閉性障害児者の発達講座
 11月27日 強度行動障害について理解を深める
 第2回講座
 平成12年(2000)
 2月5日 強度行動障害について理解を深める
 第3回講座
 2月20日 第8回自閉性障害児者の発達講座
 5月21日 第3回奈良県支部定期総会
 5月28日 第19回つながり祭
 6月11日 NHK 障害福祉フォーラム自閉症児・者の
 療育を考える
 8月23日 レクリエーションキャンプ生駒山麓公園
 8月26～28日 自閉性障害児・者発達相談
 大和郡山福祉会館
 8月27日 第1回強度行動障害について理解を深め
 る会研修会
 11月18日 第2回強度行動障害について理解を深め
 る会研修会
 11月23日 療育部ポニーの里
 成人部春日山ハイキング

10月27～28日 自閉症者キャンプ(成人部)
 いこいの村大和高原
 平成14年(2002)
 4月17日 重心総会奈良市総合福祉センター
 4月28日 奈良県支部総会(桂良太郎氏講演)
 かしはら万葉ホール
 5月12日 自閉症協会総会・評議員会
 安田生命アカデミア(東京)
 5月19日 つながり祭参加奈良教育大
 6月7日 奈良県手をつなぐ育成会総会
 奈良県社会福祉総合センター
 6月16日 自閉症NHKフォーラム大阪市
 6月25日 療育部施設見学 11名
 バルツァ・ゴードル
 7月6日 療育部・成人部合同部会
 7月17日 奈良県へ要望書提出 県庁福祉部
 8月2日 日帰りレクリエーション・講演会
 24家族34名 奈良市総合福祉会館
 8月21日 社会福祉・医療事業団のヒヤリング
 大和郡山市福祉会館
 9月7～8日 自閉症カンファレンス早稲田大学キャ

12月9日 第9回自閉性障害児者の発達講座
 平成13年(2001)
 3月3日 強度行動障害について理解を深める会
 研修会
 4月22日 2001年第4回奈良県支部定期総会
 5月20日 第20回奈良県障害者・家族・県民のつな
 がり祭
 (平成13年度社会福祉・医療事業団の助成事業)
 7月14日 自閉症児者支援ボランティア養成事業
 第1回講座
 7月28日 自閉症児者支援ボランティア養成事業
 第2回講座
 8月3日 自閉症児キャンプ(奈良仔鹿園)
 8月11日 自閉症児者支援ボランティア養成事業
 第3回講座
 8月25～26日 自閉症児者発達相談会
 大和郡山市福祉会館
 9月8日 自閉症児者支援ボランティア養成事業
 第4回講座
 10月13日 自閉症児者支援ボランティア養成事業
 第5回講座

ンパス
 9月14日 第10回保護者・保育士・教師・ボランティ
 アのための自閉症理解講座 門眞一郎 氏奈良市総合福
 祉センター保育20名
 9月25～27日 第40回全国知的障害者関係施設職
 員研究大会奈良市100年会館(後援)
 10月13日 第20回奈良県知的障害者・児体育大会
 田原本福祉センター
 10月17日 療育部会 11名 郡山福祉会館
 10月26～27日 発達・就学相談会
 大和郡山市福祉会館
 11月3・4 秋のレクリエーション
 3日11名、4日18名 ポニーの里
 11月16日 強度行動障害について理解を深める会
 佐々木正美氏奈良女子大
 11月23～24 日療育キャンプ
 国立曽爾少年自然の家
 12月8日 第11回自閉症理解講座 岡田眞子氏
 奈良県文化会館集会所 保育11名
 12月15日 支部役員会大和郡山福祉会館
 11月23～24日 手をつなぐ育成会研究大会
 大和郡山城ホール

11月23～24日 療育キャンプ(国庫補助事業)
 国立曽爾少年自然の家
 1月12日 育成会 第24回新成人のつどい(松本)
 かしはら万葉ホール
 1月16日 療育部新年会 12名 肉のさかもと
 1月26日 近畿ブロック会議(河村・和知) 大阪
 2月2日 役員会大和郡山市福祉会館
 3月6日 療育部会 支援費制度について
 15名 ちいろば園
 3月30日 役員会大和郡山市福祉会館
 平成15年(2003)
 4月27日 支部総会 やまと郡山城ホール
 5月11日 自閉症協会総会東京
 6月15日 NHK フォーラム クレオ大阪西
 7月6日 第一回講座 奈良文化会館
 7月26日 第二回講座 奈良文化会館
 7月28/29 療育部キャンプ 鈴鹿峠自然の家
 8月22日 第三回講座 はばたきホール(生駒市)
 8月26/27 三季館キャンプ 御杖村
 8月31日 臨時役員会 郡山福祉会館
 9月3日 奈良県福祉部障害福祉課との話し合い 奈良

7月17日 キャンププレ講座 やまと郡山城ホール
 7月24/25 日本自閉症協会研究全国大会 浜松市
 7月27/28 療育キャンプ 三重県美杉村
 8月8日 支部役員会 郡山福祉会館
 9月27日 奈良県福祉部との話し合い 奈良県庁
 10月2/3 日本自閉症協会支部連絡会
 ランドマークタワー横浜
 10月21日 自転車でいこう映画試写会
 やまと郡山城ホール会議室
 11月6日 重症心身障害児(者)を守る会講座
 奈良女子大
 11月18日 あすく見学(成人部) 京都市
 11月26日 自転車でいこう映画会
 やまと郡山城ホール
 12月4日 日本自閉症協会近畿ブロック会議
 大阪市中央区民センター
 12月18/19 岸和田競輪場を利用した地域指導者養成
 研修会 岸和田競輪場
 12月25日 役員会 郡山福祉会館
 1月9日 成人式中川参加
 1月15日 重症心身障害児(者)を守る会ブロック研
 修会 奈良県文化会館

県庁
 9月5日 able 映画会 やまと郡山城小ホール
 9月14日 会議 郡山福祉会館
 9月29日 奈良市障害福祉課との話し合い
 奈良市庁福祉課
 10月11/12 支部連絡会 横浜ランドマークタワー
 10月25日 第4回講座 奈良県文化会館小ホール
 11月22/23 療育キャンプ
 やまと高原いこいの村
 11月24日 近畿ブロック会議
 11月30日 第五回講座 橿原文化会館
 12月8日 萩の杜訪問
 1月17日 拡大役員会 大和郡山福祉会館
 2月1日 第6回講座 やまと郡山城ホール
 2月5日 奈良県福祉部障害福祉課との話し合い
 奈良県庁
 平成16年(2004)
 4月24日 支部総会 やまと郡山城ホール
 5月15日 自閉症協会総会 こどもの城(東京)
 5月15日 NHK フォーラム クレタケ
 7月3日 近畿ブロック会議 大阪市中央区民会館

1月20日 軽度発達障害日米研修 奈良県文化会館
 1月22日 自閉症協会シンポジウムイン淡路島
 淡路島国際会議場
 2月5日 自閉症理解講座
 大和郡山城レセプションホール
 2月16日 サロン川西 参加 教育研究所分室
 2月20日 役員会 郡山福祉会館
 2月23日 奈良県福祉部障害福祉課との話し合い
 奈良県庁
 3月24日 奈良県自閉症・発達支援センター話し合い
 奈良県庁
 平成17年(2005)
 4月23日 第8回支部総会大和郡山城ホール
 5月13日 奈良県福祉部との話し合い
 奈良県庁63会議室
 5月15日 日本自閉症協会総会 こどもの城(東京)
 5月15日 つながり祭 奈良教育大
 5月18日 サロン川西 リハセン教育研究所
 6月11日 自閉症理解講座 井深・山中・峰氏
 奈良県文化会館小ホール
 6月14日 奈良県早期発見療育の会議

敵傍県保健センター
 6月16日 生活就労 県庁
 6月19日 NHK ハートフォーラム 和歌山市
 7月3日 自閉症講座 服巻氏
 奈良県文化会館小ホール
 8月11日 12日 支援者実践セミナー・事前研修会
 仔鹿園
 8月27日 療育相談 大和郡山福祉会館
 8月28日 29日 療育相談 大和郡山福祉会館
 9月～2月 全12回 支援者実践セミナー
 高橋ビル
 9月15日 早期発見 県庁5F
 9月18日 自閉症講座 門氏
 奈良県文化会館小ホール
 9月3日 映画会 あしたキラリン 郡山城ホール
 9月4日 プレゼンテーション 県公会堂
 9月5日 生活就労 県庁4F
 10月1～2日 支部役員会 子どもの城(東京)
 10月29/30日 成人部キャンプ 赤目の森
 10月6日 ゆめ基金説明会 大阪
 11月12日 近畿ブロック会議 精華小(大阪市)
 11月19日 ペアレントメンター講座 名古屋

11月3日 強度行動障害を理解する講座 里見恵子氏
 奈良女子大
 12月3日 自閉症理解講座 志賀利一
 大和郡山城ホール
 2月26日 自閉症理解講座 映画会「マラソン」
 大和郡山城ホール
 3月7日 公開療育相談 あざさ苑
 3月29日 公開療育相談 岡田眞子氏
 大和郡山福祉会館
 平成18年(2006)
 4月8日 第9回支部総会・記念講演
 「発達障害理解の基礎講座1」やまと郡山城ホール
 4月9日 (社)日本自閉症協会 近畿ブロック会議
 大阪
 4月23日 支部特別支援教育会議 福祉会館
 4月27日 奈良県重症心身障害児(者)を守る会総会
 奈良市総合福祉センター
 5月13日 日本自閉症協会全国支部組織・連結決算会議
 こどもの城(東京)
 5月14日 (社)日本自閉症協会総会 こどもの城(東京)
 6月8日 奈良県手をつなぐ育成会総会 橿原市
 6月17日 特別支援教育ボランティア養成講座「記

念講演」奈良県文化会館
 6月18日 NHK 自閉症ハートフォーラム in 奈良
 100年会館中ホール
 6月30日 18年度でいあー第1回連絡協議会
 奈良仔鹿園 奈良市
 7月9日 日本自閉症協会奈良県支部役員会
 大和郡山市福祉会館
 7月16日 発達障害の理解のための基礎講座2
 奈良県文化会館
 7月20日 第1回奈良県発達障害者支援体制整備検
 討委員会 奈良県庁
 8月19日 JDD ネット奈良準備会議
 大和郡山市社会福祉会館
 9月3日 日本自閉症協会奈良県支部役員会
 大和郡山市社会福祉会館
 9月9日 発達障害理解のための 実践講座1
 やまと郡山城ホール
 9月10日 日本自閉症協会近畿ブロック会議
 大阪中央区民ホール
 9月30日 10月1日 支部役員連絡会
 こどもの城(東京)
 10月5日 第2回奈良県発達障害者支援体制整備検討

委員会 奈良県庁
 10月18日 でいあー第2回連絡協議会(療育支援)
 奈良仔鹿園 奈良市
 10月27日 でいあー第2回連絡協議会(成人支援)
 奈良仔鹿園 奈良市
 10月28/29日 ペアレントメンター養成講座
 (協会本部主催) 大阪
 10月29日 発達障害理解のための 実践講座2
 奈良県文化会館
 11月26日 発達障害理解のための 実践講座3)
 奈良文化会館
 1月6日 坂井聡氏(香川教大)講演会と映画会(赤
 い羽根助成) やまと郡山城ホール
 1月11日 新成人の集い 橿原万葉ホール
 1月13日 発達障害理解のための 実践講座4
 大和郡山
 1月14日 JDD ネット奈良第1回連絡会議
 大和郡山市社会福祉会館
 10月～2月 奈良県支部メンター養成講習会と相談会
 実施 奈良市男女参画センター他
 平成19年(2007)

4月14日 JDD ネット奈良第2回会議
 5月13日 つながり祭 奈良教育大学
 5月24日 第1回奈良県発達障害者支援体制整備検討委員会 奈良県庁
 5月26日 第10回奈良県支部総会
 6月17日 NHK ハートフォーラム 垂水レバンテホール
 6月20日 JDD ネット奈良会議 郡山福祉会館
 7月8日 日本自閉症協会総会 東京
 7月19日 でいあ一連絡協議会
 7月29日 河本佳子先生スエーデンの発達障害児者への取り組み講演 帝塚山大16号館
 8月25日26日 自閉症児発達相談会 郡山福祉会館
 9月1日 JDD ネット奈良会議 郡山福祉会館
 9月3日 社会福祉・医療機構助成ヒヤリング
 9月8日 自閉症理解講座 奈良県文化会館
 9月17日 近畿ブロック会議 京都
 9月29日30 支部役員連絡会 東京
 10月5日 高機能・アスペ部会 田原本福祉センター
 10月11日 発達障害対策委員会 奈良県庁
 10月27日 JDD ネット奈良会議 郡山 多重債務対策講座 奈良県中小企業会館

12月1日 お父さんたちの親睦会第1回 西大寺
 12月7日 でいあ一療育支援会議 仔鹿園
 12月14日 でいあ一成人支援部会 あすなら会議室
 平成20年(2008年)
 1月5日 ニューイヤーシアター&コンサート やまと郡山城ホール
 1月13日 育成会主催成人式 かしはら万葉ホール
 ※以下活動継続中



事務局から

廃止される「日本自閉症協会奈良県支部」から「奈良県自閉症協会」への会員移行への承諾書(入会申込書)は今回の総会に参加される方も捺印して必ず事務局に送り返して下さい。総会に欠席の方は 委任状の項目にも記載してください。

○H19年度

でいあ一 第3回連絡協議会療育支援分科会
 日時

平成20年2月22日金曜日 13:45 受付 14:00 開始
 場所

奈良市男女共同参画センターあすなら「会議室1」

○H19年度

でいあ一 第3回連絡協議会成人支援分科会
 日時

平成20年2月29日金曜日 13:45 受付 14:00 開始
 場所

奈良市男女共同参画センターあすなら「会議室1」



LD、ADHD、高機能自閉症等の軽度発達障害向けの 教材・教具の実証研究報告会

文部科学省委嘱事業（障害のある子どもへの対応におけるNPO等を活用した実践研究事業）

日時：2008年3月1日（土） 12:30 - 16:15（開場 12:00）

会場：クレオ大阪西 ホール

〒554-0012 大阪市此花区西九条6丁目1番20号

電話 06-6460-7800

<交通>

JR環状線・阪神西大阪線「西九条」駅下車、徒歩約3分

市バス「西九条」下車、徒歩約2分

参加費：無料

定員：380名



全国LD親の会では、平成18年度から2年間にわたり、文部科学省から「障害のある子どもへの対応におけるNPO等を活用した実践研究事業」の委嘱をうけ、「LD、ADHD、高機能自閉症等の軽度発達障害向けの教材・教具の実証研究」を日本発達障害ネットワークの加盟団体等と共同で行ってきました。

本研究では、学校や療育機関での先行事例・有効事例、家庭での工夫等による教材・教具のアイデア、事例を収集し、LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害の子どもの困難やニーズに合わせて有効なサポート・ツール（教材・教具など）を体系的に整理し、データベースを作成しました。さらに、小学校や療育機関等で新規に開発したサポート・ツールや選定した既存のサポート・ツールの実証を行いました。

報告会では、第1部で、サポート・ツールデータベースの公開とその使い方の説明、事例報告等の研究成果の発表を行います。第2部では、本研究の成果をふまえ、発達障害のある子どもたちに対する指導方法を討議する場を企画しました。

あわせて、会場のギャラリーで新作や実証を行ったサポート・ツールなどの展示も行う予定です。多くの方のご来場をお待ちしています。

主催：全国LD親の会

共催：日本発達障害ネットワーク

後援：大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、日本LD学会、(社)日本作業療法士協会



全国LD親の会

事務局：〒105-0013 東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3F TEL:03-6240-0673 FAX:03-6240-0671

E-mail: jpa1d@jddnet.jp URL: <http://www.normanet.ne.jp/zenkokld/>

プ ロ グ ラ ム

12:00 開場 (受付開始)

12:30 開演挨拶

【第1部】

12:40-13:30 事業報告

山岡 修 (全国LD親の会・会長)

森田 安徳 (日本LD学会・理事、吹田市立教育センター・主幹)

奥脇 学 (大阪LD親の会「おたふく会」)

13:30-15:00 事例報告

白倉 節子 (西埼玉LD研究会、所沢市立上新井小学校・教諭)

佐々木 仁子 (西埼玉LD研究会、所沢市立北小学校・教諭)

濱野 幸恵 (NPO法人ファーム・代表理事)

山田 充 (堺LD研究会、堺市立日置荘小学校・教諭)

米田 和子 (堺LD研究会・代表、堺市立向丘小学校・教諭)

辻 薫 (大阪府作業療法士会 特別支援教育研究会・代表)

15:00-15:15 休憩

【第2部】

15:15-16:15 総合討議

実証研究者

小関 京子 (西埼玉LD研究会・会長)

米田 和子 (堺LD研究会・代表、堺市立向丘小学校・教諭)

辻 薫 (大阪府作業療法士会 特別支援教育研究会・代表)

井上 育世 (全国LD親の会・理事)

アドバイザー

篁 倫子 (お茶の水女子大学大学院・教授)

柘植 雅義 (兵庫教育大学大学院・教授)

コメンテーター

樋口 一宗 (文部科学省特別支援教育課 特別支援教育調査官)

司会

内藤 孝子 (全国LD親の会・副会長)

16:15 終演

申込方法

参加ご希望の方

住所 氏名 電話番号 所属 参加人数(3名まで)を明記の上、

往復はがきか、E-mailでお申し込みください。(締切:2月20日)

1. 往復はがき送付先

〒540-0008

大阪市中央区大手前1丁目3番49号 5番 大阪LD親の会「おたふく会」

「教材教具実証研究報告会 申込係」宛

2. E-mail: jpald@jddnet.jp 全国LD親の会・教材教具実証研究報告会 申込係

3. 定員に達し次第受付を終了させていただきます

問合わせ先 全国LD親の会事務局: TEL:03-6240-0673